

第4学年 学級活動実践例

平成26年6月18日(水)第4校時
4年2組 25名 (男子14名 女子11名)
指導者 略

1 議題 「4年2組ミニオリンピックをしよう！」

2 学級と児童の実態

本学級の児童は、4年生となり上学年としての自覚も高まり、何事にも一生懸命がんばる子が増えてきている。また、休み時間には男女が一緒になって鬼ごっこやドッジボールをしている。係活動では自分たちで考えた活動を協力して行っている。一方で、友だちの不適切な言動を強い口調で責めたり、失敗を過剰に指摘したりすることでトラブルがおこることもある。

新学期当初、学級をよりよくしていくために学級目標を全員で話し合った。「けんかやいじめのない学級」「みんなが笑っている学級」「男女が仲の良い学級」など、これまでの経験を振り返りながら多くの意見が出された。また、協力することの大切さや自分たちで考えていくことの大事さを各々が意見として出すことができた。しかし、学級全体的話し合いでは、考えを深めたり、自分の考えをまとめて発表したりすることは苦手である。

5月になり、学級としてさらに仲間との絆を深めていこうということで、議題箱には「みんなともっと仲良くなれる方法を考えて、いろいろなことをしたい。」という意見がたくさん入っていた。そこで、計画委員会を開き、「4年2組ミニオリンピックをしよう！」という議題で学級会を開くことになった。

3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくること大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

<計画委員会>

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
6月6日 (金)	第1回計画委員会 議題決定と提案理由の吟味、役割決定	提案者の意向、学級目標に合った提案理由を考えるように助言する。	【関心・意欲・態度】 提案者の思いや願いを大切にし、それに沿った学級会をしようとしている。 (観察・計画委員会ノート)

6月9日 (月)	第2回計画委員会 話し合いの柱の決定 活動計画作成 決定事項をみんなに伝える。	・話し合いをイメージして活動計画を立てられるようにする。 ・話し合いの内容をクラス全体で共通理解できるようにする。	
-------------	--	--	--

<学級全体の活動>

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
6月10日 (火)	自分の考えを学級会カードに記入する。	計画委員会での決定事項について共通理解を図ったうえで記入させる。	【関心・意欲・態度】 提案者の思いや願いを大切にし、それに沿った学級活動にしようとしている。 (観察・学級会カード)

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

絆を深めるために、友達によさに目を向けて、支え合えるようなルールを工夫して考えて、決定することができる。(思考・判断・表現)

(2) 児童の活動計画

議題	4年2組ミニオリンピックをしよう！	
提案理由	クラスのみんなどもっと仲良くなりたいから。	
役割	司会、副司会、黒板記録、ノート記録	
話し合いのめあて	みんなが楽しめる遊びを考えよう	
①はじめの言葉 ②役割の紹介 ③議題の確認 ④提案理由の説明 ⑤決まっていることの確認 ⑥話し合いのめあての確認 ⑦話し合いの順序の確認 ⑧話し合い		
話し合いの順序	予想される意見	準備物など
柱① 何をするか (20分)	リレー 障害物競争	バトン フラフープ
柱② もりあげる工夫 (10分)	BGMを流す 応援合戦をする	CD チームの旗
柱③ 役割分担 (10分)	司会 プログラム作り	マイク 画用紙
⑨決まったことの発表 ⑩振り返り ⑪先生の話 ⑫終わりの言葉		
決まっていること	・6月30日(月)5時間目にする。 ・出し物は2つする(体育館で行う)	

(3) 教師の指導計画

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
柱① 何をするか (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を意識して、意欲的に発言できるように声をかける。また、友だちの発言をしっかりと聞くように意識させる。 ・どうしたら自分たちが中心となり盛り上げられるかを考えるようにする ・クラスがもっと仲良くなるにはどうすればよいかをイメージさせて、役割を考えさせる。 ・自分の希望する役割のところへ名前カードを貼りに行くように指示をする。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや願いをもち、提案理由に合った内容を考えようとしている。 ・自分の意見を主張するだけでなく、友だちの意見も受け止めたり、参考にしたりしながら話合いに参加している。 (観察・計画委員会ノート)
柱② もりあげる工夫 (10分)		
柱③ 役割分担 (10分)		

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
6月23日 (月)	役割ごとに具体的な活動の計画をたて、準備をする。	お互いの取り組みを認めさせることで、児童の意欲を継続させる。	【思考・判断・実践】 自分の役割に責任をもち、友だちと協力して取り組んでいる。
6月30日 (月)	4年2組ミニオリンピックをする。 活動の振り返りをする。	友だちと協力して、楽しく実施できるようにする。また安全には十分配慮して、活動する。 児童が全員楽しめるように、随時適切な助言や励ましの言葉かけを行う。 みんなで作り上げたミニオリンピックのよさについて話合い、本番や準備の場面に目を向ける。(アンケート)	

7 学級会後の実践活動

(1) 本時以降の活動

翌週の学級活動の時間や休み時間を利用して、役割ごとに話合いを始めた。そして、一人一人が工夫を凝らして、ミニオリンピックらしい準備物の作成に取り組む様子を見ることができた。自分の準備が終わっても、友だちの準備を手伝う児童がいた。多くの児童が積極的に準備を行ったため、スムーズに活動に移ることができた。

(2) 当日のようす

当日は大変盛り上がった。その盛り上がる要因になったと考えられる主な工夫を三点取り上げる。ひとつに「聖火」がある。チームのキャプテンが聖火をつないで聖火台に灯すということを行った。自分たちで作った聖火を各チームのキャプテンが繋いだことによって、クラスに大きな一体感が生まれた。次に「実況」がある。実況係がマイクを使用して盛り上げるという活動をした。慣れないマイクに戸惑いながら、「赤組がんばれ!」「白組が速いです!」という様に各チームにエールを送っていた。最後に「表彰式」がある。表彰係が作ったメダルやトロフィーを各チームに手渡して、大変盛り上がった。また、「表彰台には平均台を利用して全員が乗れるようにしましょう」という児童の意見も出てきて、一人一人が主役になれる場面がある有意義な表彰式になった。



〈チームごとに入場〉



〈みんなで繋いでいる聖火〉



〈表彰式の様子〉



〈学級の集合写真〉

(3) 事後の指導

ミニオリンピックが終わってから、各々が自主的に後片付けに取り組んでいた。また事後に書かせた日記の中に「次も4年2組ミニオリンピックをしたい」「次は絶対優勝するぞ」「また4ヶ月後にしたい」「誰も怪我しないで無事に終わることができた」などの意見が出ていた。

学級会で様々な意見を出して、できるだけ本当のオリンピックに近づけようと準備を行った。ミニオリンピック当日においては、一人一人が役割を全うしながら、楽しむということを忘れていなかったように思う。それぞれの競技をみんなで仲良く楽しむというあたたかい雰囲気があり、最後の閉会式の後の集合写真を撮った時にはクラス全体に大きな一体感が生まれていた。

各々が積極的に後片付けに取り組んでいた姿が素晴らしかったことと多くの児童から肯定的な意見が出たことを学級全体の場で紹介した。また、学級会の日からミニオリンピック当日まで、「一人一人が自分の役割を頑張り抜いたことは立派なことである」と学級全体に伝えて、その場で大いに褒めた。